

# KITAKEI-Report

No.118  
June 2019

発行：北恵株式会社 〒541-0054 大阪府中央区南本町3-6-14 TEL.06-6251-6701  
http://www.kitakei.jp/

## FIT（再生可能エネルギー固定価格買取制度）を抜本見直し 自立型など『ポストFIT』を検討

経済産業省の総合資源エネルギー調査会は4月22日から、再生可能エネルギーの固定価格買取制度（FIT）の抜本的な見直しに向けた検討をスタートした。FITはそもそも、再エネ導入初期の普及拡大とコストダウンの実現を目的とした時限的な制度。実際、太陽光発電システムの価格は普及拡大とともに下がっており、それに伴って太陽光発電による電気の見取価格も下げられている（下表参照）。

FIT法（電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法）は、2020年度末までに同法の施行状況を勘案して、同法の抜本的な見直しを行うと規定しており、今後、国民負担の抑制や自立化に向けた政策、地域に根付いた電源政策などについて議論する。

### 太陽光発電による電気の見取価格の推移

電源【調達期間】	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	価格目標
事業用太陽光（10kW以上）【20年】	40円	36円	32円	29円 27円※1	24円	入札制（2,000kW以上） 21円 (10kW以上,2,000kW未満)	18円 (10kW以上,2,000kW未満)	入札制（500kW以上） 14円 (10kW以上,500kW未満)			7円 (2025年)
住宅用太陽光（10kW未満）【10年】	42円	38円	37円	33円 35円※2	31円 33円※2	28円 30円※2	26円 28円※2	24円 26円※2			卸電力 市場価格 (2025年)

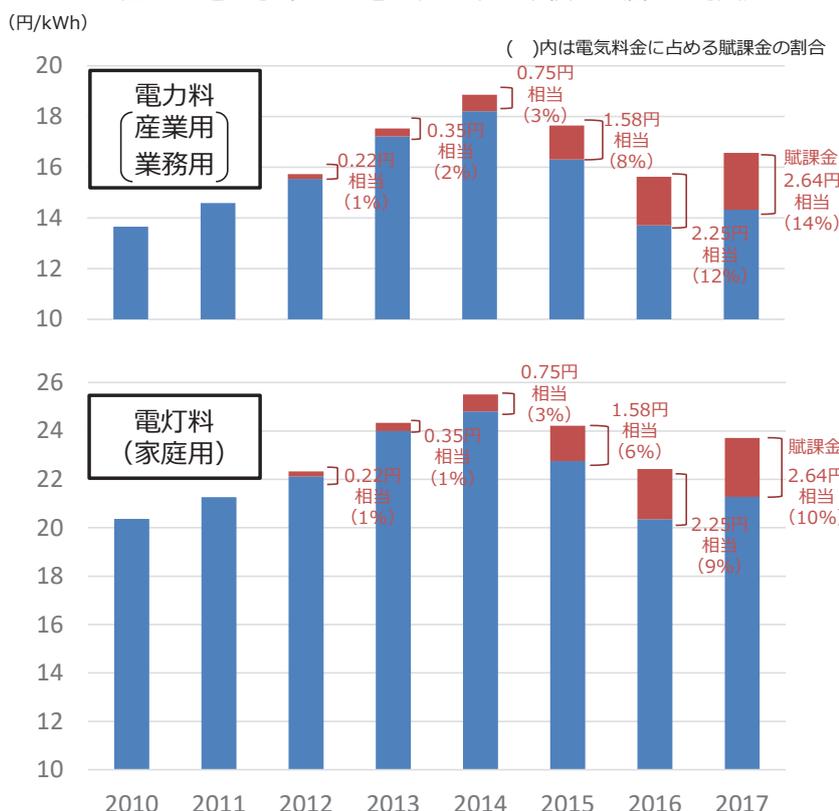
### 再生可能エネルギーの導入状況

再生可能エネルギー発電設備の種類	固定価格買取制度導入前 2012年6月末までの累積導入量	設備導入量（運転を開始したもの） 固定価格買取制度導入後								認定容量 固定価格買取制度導入後 2012年7月～2018年12月末
		2012年度の導入量 (7月～3月末)	2013年度の導入量	2014年度の導入量	2015年度の導入量	2016年度の導入量	2017年度の導入量	2018年度の導入量 (4月～12月末)	制度開始後合計	
太陽光（住宅）	約470万kW	96.9万kW (211,005件)	130.7万kW (288,118件)	82.1万kW (206,921件)	85.4万kW (178,721件)	79.4万kW (161,273件)	66.1万kW (133,205件)	42.0万kW (83,484件)	582.8万kW (1,262,695件)	615.5万kW (1,326,940件)
太陽光（非住宅）	約90万kW	70.4万kW (17,407件)	573.5万kW (103,062件)	857.2万kW (154,986件)	830.6万kW (116,700件)	543.7万kW (72,656件)	477.2万kW (53,417件)	369.5万kW (41,304件)	3,722.1万kW (559,564件)	6,650.7万kW (736,536件)
風力	約260万kW	6.3万kW (5件)	4.7万kW (14件)	22.1万kW (26件)	14.8万kW (61件)	31.0万kW (157件)	17.5万kW (322件)	14.7万kW (403件)	111.1万kW (988件)	709.2万kW (7,923件)
地熱	約50万kW	0.1万kW (1件)	0万kW (1件)	0.4万kW (9件)	0.5万kW (10件)	0.5万kW (8件)	0.6万kW (22件)	0.2万kW (9件)	2.3万kW (60件)	8.4万kW (87件)
中小水力	約960万kW	0.2万kW (13件)	0.4万kW (27件)	8.3万kW (55件)	7.1万kW (90件)	7.9万kW (100件)	7.5万kW (86件)	3.4万kW (63件)	34.8万kW (434件)	119.7万kW (625件)
バイオマス	約230万kW	1.7万kW (9件)	4.9万kW (38件)	15.8万kW (48件)	29.4万kW (56件)	33.3万kW (67件)	40.9万kW (77件)	26.0万kW (51件)	152.0万kW (346件)	873.0万kW (617件)
合計	約2,060万kW	175.6万kW (228,440件)	714.2万kW (391,260件)	986.0万kW (362,045件)	967.7万kW (295,638件)	695.8万kW (234,261件)	609.9万kW (187,129件)	455.8万kW (125,314件)	4,605.1万kW (1,824,087件)	8,976.5万kW (2,072,728件)

51.3%

※ バイオマスは、認定時のバイオマス比率を乗じて得た推計値を集計。 ※ 各内訳ごとに、四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。  
※ 改正FIT法による失効分（2019年1月時点で確認できているもの）を反映済。

<旧一般電気事業者の電気料金平均単価と賦課金の推移>



課題の1つとして挙げられているのが国民負担の軽減。現行では、再生可能エネルギーの普及拡大にあたって、広く国民全体で推進していくことを目的に、毎月の電気料金に「賦課金」が上乘せされている。

家庭用の電気料金に占める賦課金の割合は、2012年度は平均して1%程度だったが、2017年度には約10%に増加している(左グラフ参照)。それだけ再生可能エネルギーの導入が拡大していることの現れとも言えるが、賦課金を増やさないための新たなシステム構築が求められる。

世界的には、FITのような長期売電支援だけでなく、設備容量に応じた対価を補助する初期投資支援など、様々な制度が存在する(下表参照)。例えば、ドイツやデンマークでは、対象の電源に対し、市場での売電収入に加えて一定のプレミアムを付与する「FIP」も導入されている。経産省での検討の会議では、経団連から「引き続き制度的補助が必要な部分についてはFIP制度を採用することも一案」といった意見も出された。

再生可能エネルギーに関する主な制度例

種類	制度概要	実施国(例)
FIT	一定価格で一定期間買取	日本、トルコ、ケニア
FIP	市場取引+プレミアム付与	ドイツ、デンマーク
CfD	市場取引+ストライク・プライスと卸電力市場価格との差額を決済	英国
全量買取	送電会社に対し再エネの全量買取を義務付け	中国
ネットメーティング	消費者側設備による余剰電力を消費電力と相殺して精算	米国(州別)、イタリア
RPS	販売電力量に応じ再エネの一定割合の導入を義務付け	米国(州別)、韓国
グリーン証書	電力取扱量に応じ一定割合の証書購入を義務付け	スウェーデン、ノルウェー
排出権取引	事業者別に設定された排出枠を満たす義務	カナダ(州別)、メキシコ
Investment Tax Credit (ITC)	再エネ設備設置費用に対する税金を一部控除	米国
設備容量に応じた補助	収益率一定水準以下の設備に対し設備容量当たりの金額を毎年補助	スペイン

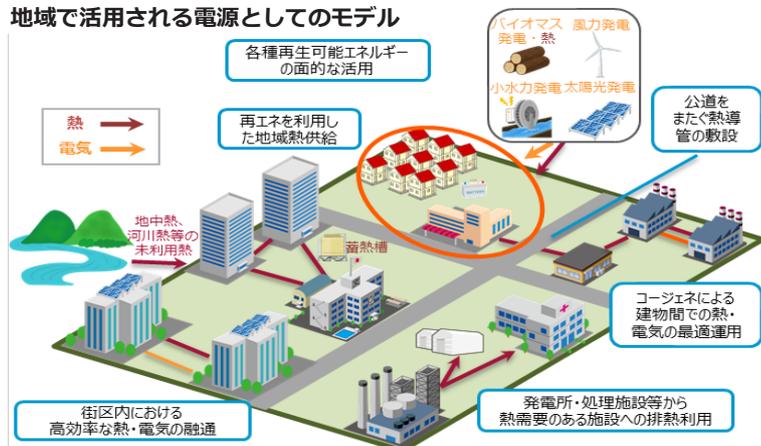
FIT に頼らないシステムの構築も大きな課題だ。住宅用太陽光発電は 2009 年から余剰電力買取制度が始まっており、10 年間の固定価格での買取期間が終了する「卒 FIT 住宅」が今年 11 月から出てくる。そのため、国は卒 FIT 住宅の太陽光発電による電気の自家消費率の向上を推進している。

【F-Grid：宮城県大衡村】 災害時における地域のエネルギー安定供給



例えば、大規模停電が発生した北海道胆振東部地震の際には、太陽光発電の自立運転機能等の利用で、太陽光発電を搭載した住宅の約 85%で電力利用が継続できたという。

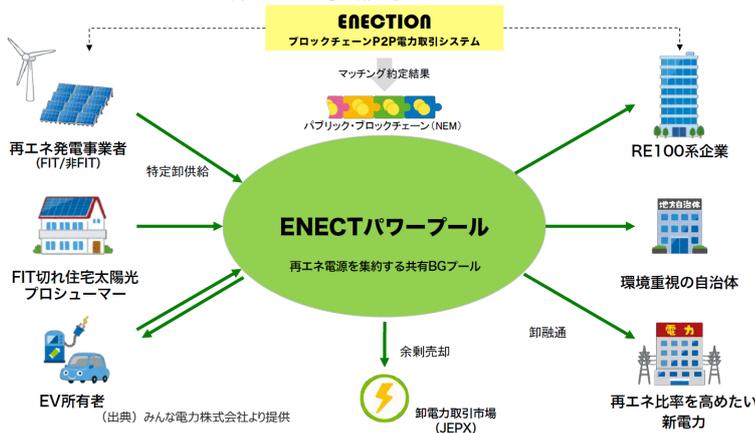
地域で活用される電源としてのモデル



こうしたレジリエンスの向上にあたっては、住宅だけでなく地域など、再生可能エネルギーの面的な利用も不可欠。バイオマス発電など『地域との共生を図りつつ緩やかに自立化に向かう電源』は、住宅用太陽光発電も含む、地域の再エネと熱供給、コージェネなど他の分散型エネルギーリソースを組み合わせたエネルギーシステムを経済的に構築することが重要だ。

FIT に頼らないビジネス事例

予約にもとづき各発電と需要量を30分単位で個別にマッチング



そのほかにも、電力利用者が、FIT を適用していない再エネ電源に投資して電力を購入する仕組みも検討されている。こうした仕組みに卒 FIT 住宅が参加することも想定できる。

今後、経産省の委員会では①電源の特性に応じた制度の在り方、②適正な事業規律、③次世代電力 NW（ネットワーク）への転換——といった論点で、'ポスト FIT' の再生可能エネルギー政策の在り方について検討していくとしている。

検討の視点	
電源の特性に応じた制度の在り方	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源の特性に応じた効果的な政策措置</li> <li>● 主力電源にふさわしいコスト低減と電力市場への統合</li> <li>● 既認定案件の適正な導入と新規開発の促進</li> <li>● 地域と共生する分散型エネルギー供給構造の構築</li> </ul>
適正な事業規律	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 長期安定的な事業運営の確保</li> <li>● 適切な廃棄を含めた責任ある事業実施</li> <li>● FIT期間終了後の再エネ事業継続・拡大の確保</li> </ul>
次世代電力NWへの転換	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 再生可能エネルギーの適地偏在性への対応</li> <li>● NW整備に対する適正な費用負担</li> <li>● NW運用において再エネ発電事業が果たす役割</li> </ul>

キタケイの提供する2つのプライベートブランド  
環境・ぬくもり・素材をテーマとした各種住宅資材 “ スプロートユニバーサル ”  
天然木にこだわったフローリングや壁材 “ リラクシングウッド ”  
企画・製造から販売までトータルにプロデュース、心からご満足いただける住まいづくりを  
バックアップします。



[www. sprout-univ. com](http://www.sprout-univ.com)

<p>環境</p>  <p>こちよい住環境</p>	<p>ぬくもり</p>  <p>住まう人のために</p>	<p>素材</p>  <p>永く使ってほしいから</p>
		



[www. relaxssingwood. com](http://www.relaxssingwood.com)

リラクシングウッド 無垢フローリング シリーズ

